



かたくり

令和6年2月
70号



災害ボランティアセンター設置訓練 及びサポーター養成講座開催!!

11月19日(日)・12月10日(日)の全2回の日程で災害に備えるための訓練及び養成講座を開催し、延べ134名にご参加いただきました。

1日目は災害時のボランティアの役割や令和2年7月豪雨災害発生時の状況等について球磨村社協の槻木様・山都町役場総務課防災係の野口様よりご講演をいただきました。

2日目は有事の動きを体験する設置訓練を実施しました。

当日は熊本県社協、熊本市社協、上益城管内の4つの社協にもご協力いただきました。

いつ、自然災害が起こるかわからないからこそ、しっかりとした備えと知識が重要だということを実体験した2日間になりました。



訓練頑張るぞ!! エイエイオー!!



オリエンテーションの様子



土のう作り体験の様子



受付の様子

参加者の感想 (一部抜粋)

- 参加した場合の大体の流れがよく分かりました。土のう袋の作り方、結び方が良く分かり良かった。
- 体験して分かった事が多かった。何も学習しないで現地に行くのとは、かなりの差がある。
- 以前にも増して、被災地へ災害復旧に参加したいと思いました。これから積極的にボランティア活動に参加したいと思います。



会長挨拶

梅田 穰

新年あけましておめでとうございます。昨年中は、本会の運営並びに事業活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

まずは、令和6年1月の能登半島地震で犠牲となられた方々に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。一日も早く平穏な生活に戻られますことを心からお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、当町においては7月の豪雨により甚大な被害が発生しました。被害にあわれた皆様にあらためてお見舞い申し上げます。

家屋へ流入した床下の土砂出しや家財道具の運搬など、ご依頼のあった世帯へ、社協ボランティア(14名)の派遣を行いました。多くの家では、近隣や家族による土砂だしが行われており、地域の中で、つながり、支え合い、助け合いは失われていないことなど、改めて感じられました。

また、私たちの日常生活に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルスは、昨年の5月から5月に引き下げられましたが、これまでの生活が大きく変わり、生活に困窮する世帯の増加や地域の生活課題は複雑多様化し、課題解決には、行政、民生委員、地域や地域の事業所などの多機関・多職種との連携・協働が求められます。引き続き皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

昨年11月に山都町福祉まつりを開催し、多くの皆様にご参加いただきました。各地域では、まつりごとやサロン活動など様々な行事も行われるようになってきました。社協は、地域の支援として、レクリエーション道具の無料貸し出しや、特技をお持ちのかた「名人さん」の派遣も行っていきます。今年も継続して参りますのでご活用ください。

本年も「みんなでつくる向いっこ軒面隣しあわせ笑顔の山都町」を基本目標として、誰もが住みなれた地域の中で『ふだんのくらしのしあわせ』を実感できるように、地域福祉活動の充実を進めて参りますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして幸多い年でありませう心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年も開催!! おたっしゃ作品展

11月2日(木)にやまと文化の森でおたっしゃ作品展開会式が行われました。

開会式では、明光保育園の太鼓や地域の名人である東 明(ひがしあきら)さんによる紙芝居(国宝通潤橋物語)やシニアクラブの皆さんによる踊り等の披露が行われました。

当日は、社協から踊りの披露もさせていただきました。

また、23日には、ペットボトルキャップで麦わら帽子飾り講座として、井手芳蔵さん・光子さんご夫婦を講師に、16名の参加者が思い思いに可愛い作品を作り上げられました。

なお、作品展は11月26日(日)まで開催されました。



ケアセンターやまと デイサービス新年会開催!!

1月15日~17日の3日間で行われました。

新年会では、職員による出し物の披露や利用者の皆さんが参加できる出し物、地域の方々を招いての出し物披露などの様々な催しを行いました。

利用者の皆様も笑顔で出し物を楽しまれており、新年会は終始楽しく温かい空気に包まれていました。



清和木原谷
ひまわり会の皆さんによるスコップ三味線



「第2回 好きっ通潤パズル大会 in 矢部高校」

11月11日(土)、矢部高校の文化祭で「第2回好きっ通潤パズル大会」が開催され、小学生から85歳までの40名がパズルを解くスピードを競われました。高校生が司会や実況などの大会運営を担い、サポート役として解くヒント出しや助言を行ったりと、参加者と一緒に楽しむ内容でした。初めてこのパズルを体験された方も多く、参加された方は「解けると嬉しい。」「難しかったけど解けて良かった。」と話されていました。高校生が取り組む地域福祉活動を今後も応援したいと思います。



「令和5年度 福祉まつり 講演会」

11月3日(金)に「令和5年度福祉まつり」を開催しました。今回は講師に石黒秀喜氏をお迎えし、「今から始める老い支度のスヌメ」という演題で講演会を行いました。健康寿命・認知症の準備・終活の3つのテーマを軸に構成されており、ユーモアを交えながら、老後をよりよく生きるためのお話をいただきました。



「町内各地で開催!! 地区福祉まつり・サロン」



清和地区

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、コロナ禍以前に行われていた地区福祉まつりやサロンが各地で積極的に開催されました。
地区福祉まつり・サロンでは、グラウンドゴルフ大会やニュースポーツ、eスポーツや文化祭・体操など様々な催しが行われています。
数年ぶりの地区福祉まつりの開催は参加した地域住民のみならず、どの会場も大盛り上がりでした。



白糸第三地区



菅尾地区

山都町から人吉へ!! ボランティア フェスティバル開催

11月25日(土)に人吉で開催された「火の国ボランティアフェスティバル人吉球磨」に参加しました。
4年ぶりの現地開催となったボランティアフェスティバルでは、水害時の体験談とボランティアの様子についての講演や、人吉球磨地域のボランティア団体によるステージ発表などの素敵な発表が多く行われました。

参加者の皆様からは、「現地開催は多くの人と会うことができるからとても楽しかった。」や「他のボランティア団体の活動を知る機会になったので、非常に良かった。これを機に、他のボランティア団体とも交流を行っていききたい。」などの声をいただきました。

これをきっかけに、山都町内でもボランティアの輪がより一層広がるよう、社協でもボランティア活動推進を行ってまいります。



ボランティア連絡会会員の皆様



メイン会場の様子

掲 示 板

赤い羽根共同募金実績報告

令和5年度実績

募金の種類	件数	金額
戸 別	3,978	1,786,690
法 人	4	35,000
職 域	61	60,006
イベント	1	1,858
個 人	1	337
そ の 他	89	84,935
合計	4,134	1,968,826

【令和5年12月末現在】

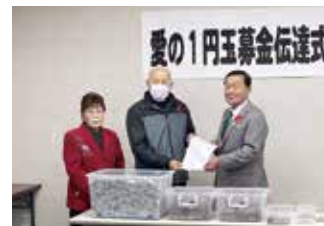
今年度も10月1日～12月31日まで山都町共同募金委員会では、戸別・職域・法人・学校・募金箱等にて募金をお願い致しました。
住民の皆様温かいご協力に心からお礼を申し上げます。

潤徳小学校の皆様さん、ありがとうございました!!



令和5年度 愛の1円玉募金贈呈式

12月19日、蘇陽支所にて愛の1円玉募金贈呈式が行われました。
山都町シニアクラブ連合会蘇陽支部の安永支部長より¥165,701の目録が手渡されました。
いただいた募金は町内の地域福祉活動のために活用させていただきます。
ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



法律相談日のご案内

2月～5月の法律相談は下記のとおりになります。ご確認の上、お越してください。

法律相談	原則毎月第3木曜日	弁護士による無料相談を実施。
時 間	午前10時～午後3時まで (祝日及び年末年始は除く)	
※福祉相談につきましては、平日(祝日は除く)の午前10時から午後3時まで社協各事務所で常時開設し、職員が対応いたします。		
※都合により開催日・開催場所が、変更になる場合がありますので、防災無線及び社協各事務所で確認のうえ相談において下さい。		
2	22	木 清和 支援ハウス清楽苑
3	21	木 蘇陽 蘇陽支所
4	18	木 矢部 矢部保健福祉センター千寿苑
5	16	木 清和 支援ハウス清楽苑

令和5年度 社協一般会費納入状況報告

【令和5年12月末現在】
4,279戸
4,289,500円

今年度も町民の皆様にご協力ありがとうございました。
1戸千円の社協会費をお願いいたしました。
納入頂いた会費は「住民主体」の原則のもと、社協が実施する地域福祉諸活動に役立てていきます。
ご協力ありがとうございました。

担当：山崎



編集後記

2月といえば、バレンタインデー。ここ数日、ソワソワしていた読者の方もいるのではないのでしょうか。

この時期になると、義理チョコももらったことない……と甘くなかった青春を思い出す人も多いことでしょう。
日本特有の文化である義理チョコ、数年前には海外の高級チョコレートブランドが「日本は、義理チョコをやめよう」という新聞広告を掲載して、大きな話題を呼びました。

日本は義理と人情を重んじる国なので、何かと面倒なことも多いですが、義理と人情は人を救うこともあります。
年初めから様々なことが起こった2024年、こんな年だからこそ義理と人情を欠くことなく、一人でも多くの人に温かみのある行動ができる1年にしたいですね。

※この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金および社協会費、寄付金の一部で作成しています。